

大阪府景気観測調査結果

平成22年7～9月期

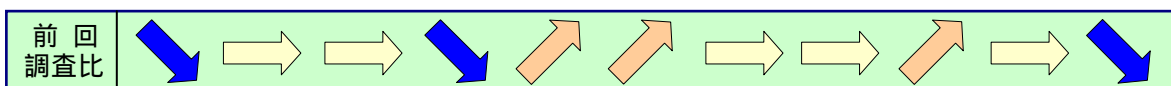
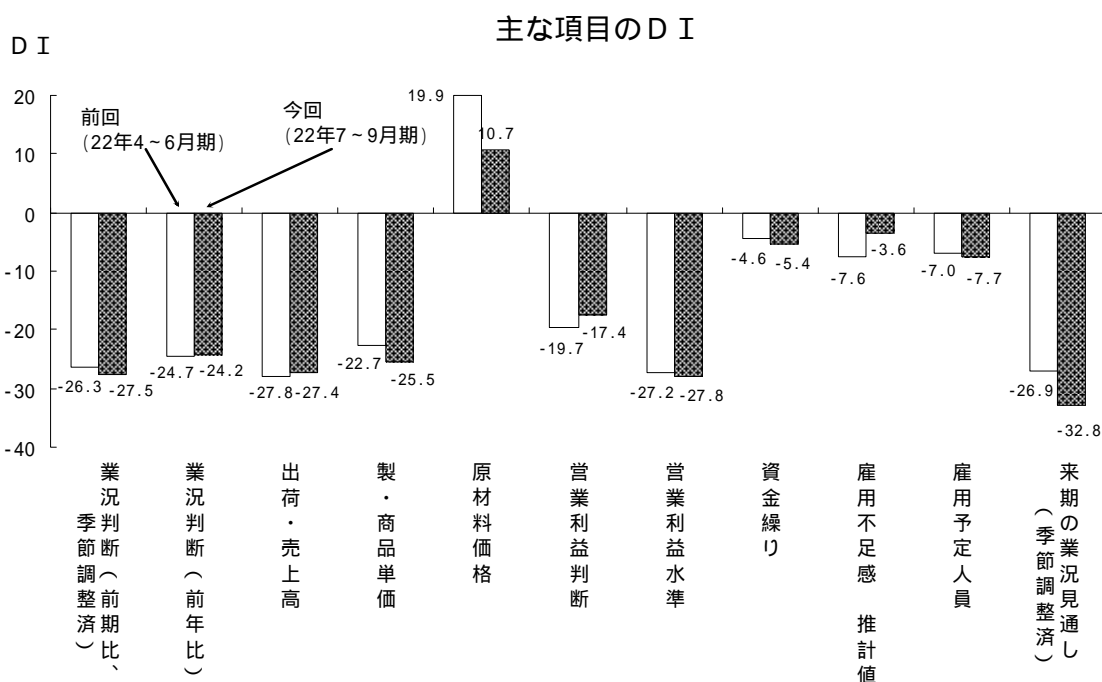
商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。平成22年7～9月期の調査結果の概要は次のとおりです。

なお、大阪市景気観測調査結果については、大阪市経済局のウェブサイト

<http://www.city.osaka.lg.jp/keizaiyoku/page/0000002583.html> をご覧ください。

景気は持ち直し傾向が続くものの、やや一服感がみられる

業況判断DIのマイナス幅は拡大に転じた。原材料価格DIが引き続きプラス、営業利益判断DIはマイナス幅の縮小が続くものの、出荷・売上高DIや営業利益水準DI、資金繰りDI、雇用予定人員DIは横ばい、製・商品単価DIは低下に転じた。なお、来期の業況見通しは、やや弱含みの見通し。



() 今回（平成22年7～9月期）の雇用不足感DIについて

今期の雇用状況の調査では、調査票の一部に従来の調査項目とは異なる選択肢があったことにより誤差が生じている可能性が高いため、過去のデータ分析を踏まえた推計値（暫定）を掲載している。

調査結果に関するお問い合わせは (06)6947-4363

商工労働部(大阪産業経済リサーチセンター)経済リサーチグループまで

22年4月、旧の府立産業開発研究所は商工労働部総務課に統合し、「大阪産業経済リサーチセンター」として再編されました。